

企業の顔「看板」を広告媒体として多角的にチェックする 東急エージェンシーオリジナル看板診断システム「MIKATA」のご案内

株式会社東急エージェンシー（本社：東京都港区、社長：五十嵐正）は、この度オリジナル看板診断システム「MIKATA」を発表しましたので、ご案内申し上げます。

オリジナル看板診断システム「MIKATA」サービス主旨

「看板」は、企業にとって生活者との身近な接点であるだけでなく、重要な資産でもあります。しかしながら、従来「看板」は「ハード面」「ソフト面」両面からの一元管理が困難でした。そこで、この度当社内のノウハウを結集し、企業のブランド管理という統一の視点で「看板」をチェックする診断システムをパッケージ化いたしました。当看板診断システムによる保有看板のコンディション把握を通じて、事故などの保有リスクを最小化すると共に、ブランド価値向上に繋がるお手伝いを致します。

東急エージェンシー オリジナル看板診断システム MIKATA

サービス開始の背景

コンプライアンスやCSRなど、企業活動に対する生活者の目が厳しくなっている昨今、「看板」の保守管理の重要性は高まっています。

一方で、「看板」は公共性が強く街の美観との調和が重要視されるため、近年では表現の管理に対する関心も非常に高まってきています。

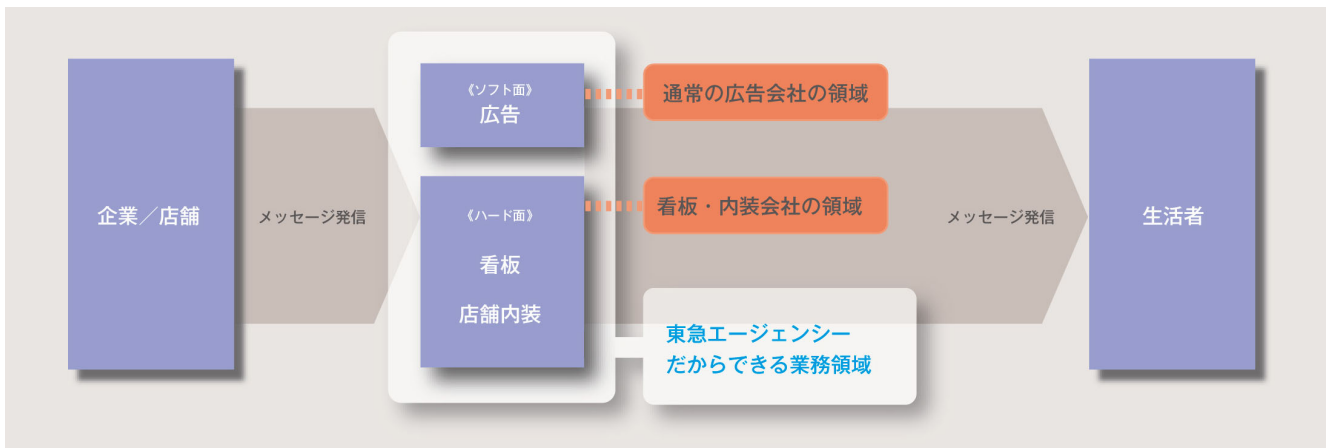
こうした環境変化に対応するために「看板」は企業のブランド管理という統一の考えに基づく「ハード面」「ソフト面」両面からの一元管理が必要です。

当社は、東急グループの一員として東急線沿線の様々な街づくりに携わってまいりました。その中心的部署として空間プロデュースの専門家を集めた「都市開発事業局」を設置しております。当該部署では、特に店

舗などの保守管理や、街の景観との調和を考慮した店舗デザインなど「ハード面」「ソフト面」両面からの総合プロデュースを行ってまいりました。

この度「都市開発事業局」を中心に、マーケティングやクリエイティブなど広告の企画・制作で培ってきた様々な部署のノウハウを結集し、オリジナル看板診断システム「MIKATA」としてパッケージ化いたしました。

東急エージェンシーの業務領域



東急エージェンシーオリジナル看板診断システム「MIKATA」について

看板の保有リスクを最小化し、訴求力を最大化すべく、3つの視点から診断いたします。

- ・安全性診断・・・経年劣化や風雨による腐食などにより、耐久性が低下してないか？
- ・法的診断・・・看板に関する法令を遵守しているか？必要な申請書類は揃っているか？
- ・訴求力診断・・・生活者とのコミュニケーション接点として十分な訴求力を持っているか？

当社の専門スタッフが、それぞれの視点から診断し、その診断結果と共に適切な処方箋（対処策）をご提示いたします。

「MIKATA」ネーミング・ロゴデザインについて

ネーミング

当社独自の診断ノウハウ（診かた）を活用し、お客様の看板をビジネスの武器（味方）にしていく。

「MIKATA」というネーミングには、このような意味が込められています。

ロゴデザイン

看板をさまざまに陰で支えていく「MIKATA」のサービスを、看板のモチーフでロゴ化しました。支柱のカタチまで、同じ書体フォントでデザインしています。

都市開発事業局とは

店舗から専門店ビル、ショッピングセンター、百貨店、空港内商業施設とあらゆる買場空間において、消費者にとって満足度が高く、事業者にとっても収益が上げられるよう、商業施設における企画・設計・施工のトータルプロデュース業務を行っております。また、商業施設にとどまらず、空間というフィールドにおけるコミュニケーションにおいて、最大効果をあげるための空間作りをお手伝い致します。

また、消費者との接点におけるブランド価値の体験という視点からも空間作りを行い、ブランドの視覚的な共通体験としての店舗VI開発、さらには、マチブランドやエリアブランドの開発も手がけております。

広告会社としてはいち早く商業施設開発に取り組み、空港施設の監理・設計から駅ビル、郊外型SCの草分け的商業施設開発を手掛け、30年近くの実験を有しています。

最近の代表的な実績としては、中部国際空港・セントレア、成田国際空港の免税店といった空港商業施設、先端的な空間作りのカフェなど個々のお店、地下鉄駅構内のパブリックアート、住宅事業ブランドのVI開発などがあります。

この件に関するお問い合わせ先

株式会社東急エージェンシー

コーポレート本部広報担当 高橋、西脇

03-3475-9382

URL www.tokyu-agc.co.jp